

根子岳東峰～コルまでのルート状況～

【報 告 者】S 田

【日 時】2017年 11月 5日

【天 候】快晴

【参 加 者】S 田

《コースタイム》

8:40 大戸尾根登山口 ⇒ 東峰山頂 ⇒ 天狗のコル付近 ⇒ 大戸尾根登山口

《 報 告 》

陶ヶ岳マルチの計画が台風で中止となった先週、田中さんから慰めのメールを頂いたのがきっかけで今回の計画を思いついたのですが、直前になり田中さんが風邪でダウン。当初計画していた西峰から天狗峰直下までのアルパインルートのピストンを断念し、今回の計画となりました。熊本地震以後、根子岳に登頂できるルートは今回の大戸尾根コース、

最短ルートの前原牧場コース、一の宮からの釣井・箱石尾根コースの3つのルートが一般登山道としては利用することが可能です。

大戸尾根登山口には10台程駐車可能ですが、登山口下の道路までびっしりと駐車しておりハイシーズンであることを実感します。

登山口までは牧場エリアを通り抜けるため、牛を避けながら向かいます。登山口からしばらくは植林帯の中を進みます。植林帯を抜けると根子岳の姿が見えてきます。尾根上に整備された登山道のためか、幅が非常に狭くすれ違いのたびに道をよけ合いながらひたすら急登を進んでいくと気の抜けるぐらいあっけなく登頂してしまいました。眼下に見える地獄谷の紅葉は、田中さんには申し訳なくなるほどの圧巻でした。



さて、どうしても気になる天狗のコル・・・、安全に行けるところまでと決めて向かいました。「蟻のとわたり」、ここは震災や九州北部豪雨以前と様子に変化はありませんでした。以前もあった迂回路ですが、現在は稜線上のルートは崩落のため迂回路しか通行できないようでした。迂回路からの登り返し地点から先は、崩落が激しくアルパインの装備が必携

となります。一手ずつ慎重に確かめながら登っていくのですが、足元から崩れていく

ような恐怖感から稜線上までは上がることができず、ここで断念しました。

登山道付近まで戻ったところにクライミングの装備のグループの方と少しお話をしました。過去 50 回以上天狗の峰には登ったらしく、昭和 20 年代は 8 番線（針金）を目印にザイルなしで登っていたそうです。昭和 20 年代に山に登っていたという事は一体今お幾つなのだろうと思ったのは、下山した後でした。

